

Small MUSEUM 2009

2010.1.6— 1.18

gallery yur 2007
揺



Small MUSEUM 2009

2010.1.6[火]—18[月] (11日のみ月曜休廊)

12:00—19:00 (最終日は17:00まで)

京都学園大学アートギャラリー実習では、一年を通し、アートギャラリーの基礎を学び、展覧会を企画、運営、アートに関する幅広い知識と展示の技能を修得し、文化交流、社会との触れ合いを目的としています。このたび、京都学園大学受講生たちの写真作品と社会で活躍するアーティストを迎え、その作品の展示、交流から学びとる重要な機会としています。「スモールミュージアム」(小さな美術館)と題したこの展覧会は、区切られた3つの空間を活用し、京都学園大学受講生たちの写真作品の展示(洋室スペース)、現代美術作家の陳維錚(和室スペース)、メディアアーティストのアンドレアス・クレシグ(ガーデンスペース)両氏を個展形式にて、3つのカテゴリより紹介いたします。

京都学園大学アートギャラリー実習担当教員 アmano雅広、岡崎宏樹

洋室スペース 京都学園大学 アートギャラリー実習受講生 (2009年度)

和室スペース 陳維錚 JuiChen TAN

マレーシア生まれ中国系人。現代美術作家、マルチアーティスト。1996年来日し、東北芸術工科大学(山形)在学中に3DCGアニメーション作品が東北デジタルコンテンツグランプリ優秀賞受賞。その後、実験映画、インスタレーションや参加型パフォーマンスなどへと表現手法が多様化した。京都精華大学大学院に進学後、数多くの個展やグループ展を通じて、活発に国内外で作品発表。展覧会の企画主催や国際映画祭のプログラムのキュレーション活動も多数。メディアアートのスキルを生かしたインタラクティブ(参加型)な装置とアナログな手法を融合した演出が特徴。一貫して「存在のアリティ」を探索するコンセプトにより、実在の不確かさを気づかせる視覚体験が仕掛けられている。代表作は水と油をライブ投影する「流体都市」、紙銭を積み上げた「紙と光」、密室内にフラッシュライトを仕掛けた「境界」などがある。http://tanjc.net

庭スペース アンドレアス・クレシグ Andreas Kressig

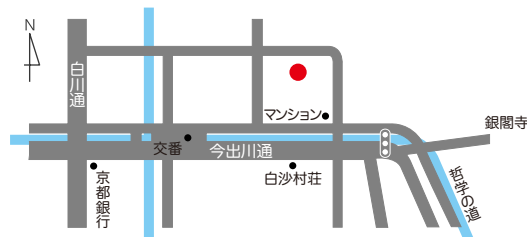
メディアアーティスト。1971年パリ生まれ、ジュネーブ(スイス)在住。1993年よりThe Art Institute of Chicago (シカゴ)、1997年よりL'Ecole Supérieure d'Art Visuel de Genèveでアートを学ぶ。2006年京都市立芸術大学美術学部構想設計専攻(メディアアート)を卒業。コンピュータグラフィックスの映像、ビジュアル、電気部品など既製品を使用した光をテーマにした作品やリサイクル可能な素材を使った手法など、インスタレーションの手段で視覚化する作品を発表。作品で使用される様々な素材は、媒介物として機能し、その場で成立する関係や効果を作り出し、独自の世界を見出している。その作品発表は、ジュネーブ、京都、カイロ、アルメニア、デュッセルドルフ他個展、グループ展を国内外多数。



JuiChen TAN, Rupa is identical with Sunya, 2007, installation

ギャラリー揺
gallery yuragi

〒606-840 京都市左京区銀閣寺前町23
Tel 075-752-0242 E-mail info@yuragi.biz
http://www.yuragi.biz



http://www.project-noa.com/smallmuseum2009

supported by
Neuron of Artists
project **NoA**

